

自己評価票

地域密着型サービス自己評価項目

(評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

【記入方法】

- 複数のユニットを持つ認知症対応型共同生活介護事業所の場合、各ユニットごとに、管理者が介護職員と協議の上記入してください。
- 次の項目は、小規模多機能居宅介護事業所のみ記入してください。
 項目番号23 ○初期に築く本人との信頼関係
 項目番号24 ○初期に築く家族との信頼関係
 項目番号25 ○初期対応の見極めと支援
 項目番号26 ○馴染みながらのサービス利用
 項目番号39 ○事業所の多機能性を活かした支援
- 次の項目は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入してください。
 項目番号53 ○身だしなみやおしゃれの支援
 項目番号59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援
 項目番号60 ○お金の所持や使うことの支援
 項目番号61 ○日常的な外出支援
 項目番号62 ○普段行けない場所への外出支援
 項目番号63 ○電話や手紙の支援
 項目番号64 ○家族や馴染みの人の訪問

【用語について】

- 管理者＝指定事業者としての届出上の管理者とする。「管理者」には、管理者不在の場合にこれを補佐する者を含む。
- 職員＝「職員」には、管理者及び非常勤職員を含む。

事業所名 なごみの家

(ユニット名) 東棟

記入者(管理者)
氏名 遠藤 淳二

評価完了日 20 年 8 月 15 日

自己評価票

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--------------------|---|---|--|
| I. 理念に基づく運営 | | | |
| 1. 理念と共有 | | | |
| 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | スタッフ間で話し合いをし、事業所の理念をベースに各棟の理念を作り、日々現実に近づけるようにしている。 | ○ 各年度で各棟の理念をスタッフ間で見直し、日々状況にあったものに行っている。 |
| 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 事業所の理念を下に作った各棟の理念を共有し日々頭に置き検討している。又、職員採用時のオリエンテーション時には必ず伝え、理解していただいている。 | ○ 実践に向けて、見えるところに掲示し、日々意識するとともに毎月のスタッフ会議にて確認しながら行っている。 |
| 3 | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 面会時や運営推進会議などで理解するとともに、各月に発行している新聞などを通し理解していただいている。 | ○ 地域の人々には、さらに理解していただけるように町内会や地域の集まりやイベントへ参加し、事業所を伝えていきたい。 |
| 2. 地域との支えあい | | | |
| 4 | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 散歩や買い物の際に挨拶やおしゃべりをしている。隣接老健利用者が玄関前のベンチで休んでくださるのでその際にお話をしている。 | ○ 行事のお誘いをしたり、新聞で紹介したりしているが、まだまだ努力が必要。 |
| 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 新聞を配布したり、町内会に加入したり、行事の際は声をかけ参加していただけるようにしている。 | ○ 幼稚園、小学校も近いので関わりを密にしていきたい。 |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------|---|---|------------------------|---|
| 6 | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 地域の方からの質問に関しては答えられる範囲で説明している。 | ○ | 管理者は研修や地域の集会などを考え取り組む努力をしている。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 外部評価でのアドバイスを全体化し、サービスの質を向上出来るようスタッフと検討している。 | ○ | 自己評価はスタッフ全員と行き、質の向上とスタッフの意識を高めるよう努力している。 |
| 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 外部評価、自己評価はその都度全体化し、意見を頂いている。 | ○ | なかなか参加者からの発言は少ないものの以前よりは発言が増えている。今後も意見を出していただけるよう関わっていききたい。 |
| 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 地域包括支援センターは、近いこともあり、気軽に行き来し、相談や情報交換が行えている。 | ○ | 認知症の予防、地域での認知症の方の相談など受けることもあり、地域包括支援センターを紹介したりしている。 |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 管理者は日頃学習しているが、全スタッフにまでは行き届いていない。 | ○ | 今後も学習会などを開き、スタッフの学習をするとともに必要なときに必要な支援が出来る体制を整えていききたい。 |
| 11 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 研修会に参加したり、日々意識して行っている。 | ○ | スタッフ間で言葉、態度などの虐待について良く話が出るのできちんとした形で学習会を開き更に意識を高めたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------|--|--|---|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | <p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> | <p>入居前には訪問、実調を行い、入居時も家族本人と話す機会を多く取るなどし、また、退去後も連絡を取ったりとコミュニケーションを多く取るよう努めている。</p> | <p>○</p> <p>各入居者の高齢化、重度化になるべく早い段階から家族へ状況説明などを行い、不安をなるべく少なくできるように日々努力している。</p> |
| 13 | <p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>日々の関わりの中で意見、不満などに早めに気づきその都度対応出来るときはしている。出来ないときは記録に残し、出来る限り行えるよう努力している。</p> | <p>○</p> <p>上手く表現できない方は言葉や態度などから感じ取り対応に努めている。</p> |
| 14 | <p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p> | <p>面会の際や電話などでその都度口答にて家族に伝えたり、2カ月に1回の運営推進会議、新聞にて報告している。</p> | <p>○</p> <p>各入居者、その家族に応じて伝え方に注意したり、内容も検討したり意識して行えている。</p> |
| 15 | <p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> | <p>面会の中でなかなか聞きとり出来ないことも有るので運営推進会議などを利用しなるべく努力している。</p> | <p>○</p> <p>面会時などはなるべくスタッフも余裕を持って関わられるよう努力している。</p> |
| 16 | <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> | <p>スタッフ会議はもちろん、業務の中でも意見を聞き出せるようにしている。</p> | <p>○</p> <p>業務中や会議で聞き取れないこともあるので、年に1度面談を行ったり、アンケートを行ったりしている。</p> |
| 17 | <p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> | <p>出来る限り調整している。</p> | <p>○</p> <p>今後も重度化していくことも踏まえ、業務の見直しも検討し、日々努力していく必要がある。</p> |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--|--|------------------------|---|
| 18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | スタッフのストレス軽減など必要に応じ、異動は検討している。利用者へのダメージを防ぐ努力はしている。 | ○ | ご家族へのダメージも検討しながら今後も必要に応じての馴染みの関係を保てるよう努力していく。 |
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 管理者はGH協議会の研修や外部研修を通し、各スタッフにあわせ、なるべく他者との交流を図ったり、スキルアップ出来るよう努力している。 | ○ | 管理者はバイザーとして関わる努力はしているが、なかなか全職員の対応までは至らない。業務の改善などを含め今後も努力していきたい。 |
| 20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 管理者はGH協議会の研修や外部研修を通し、各スタッフにあわせ、なるべく他者との交流を図ったり、スキルアップ出来るよう努力している。管理者の打ち合わせに参加したり、外部からの研修を受けたり、スタッフが外部へ出る機会を多くし、質の向上に努めている。 | ○ | もう少しスタッフが外部へ出る機会を多くとれるよう努力していきたい。 |
| 21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | 管理者は日々の聴き取りを密にコミュニケーションを図っている。 | ○ | 休憩所の確保やなるべくストレスにならない環境を作るよう日々努力を続けたい。 |
| 22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | 管理者は1人1人の特徴、性格を理解・把握し、各自が向上心を持って働けるよう努めている。 | ○ | 更に働きやすい環境を作れるよう努力していきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|--|---|---|
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護) | | |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている(小規模多機能居宅介護) | | |
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている(小規模多機能居宅介護) | | |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護) | | |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 一緒に生活を共にする者として接し、本人の意思を尊重し、出来ない部分のみサポートするように心がけている。 | ○ 業務優先になることも有るため、更に意識して個々の感情に近づいての生活支援が出来るように努めたい。 |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|--|---|------------------------|--|
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | 面会時に本人の様子をお話ししたり、行事等への家族参加の声かけをしたり、現在の入居者さんの状況を伝えるようにしている。 | ○ | 必要に応じて家族へ在宅での様子や生活、どのように関わってきたかなどを確認し、安心して暮らしていけるよう努力している。 |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 面会時にゆっくりと過ごしていただけるよう環境を整備したり、場合によってはスタッフも一緒にくつろいで過ごすこと等で関係を保てるように努めている。 | ○ | 家族への想いが伝わるよう、家族への伝え方を丁寧にしたりしている。 |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 友人、近所だった方などが面会に来やすいように配慮している。 | ○ | 馴染みの場所への支援が少しでも出来るように努力していきたい。 |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | 利用者同士の関係が分かるよう記録や申し送り等にて共有し、その時の状況によって対応している。 | ○ | 暮らしの中でのちょっとした意見交換などの際はスタッフ見守りのもとトラブルにならないよう関わっている。 |
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | ご家族は来所や電話により相談に来られることがある。その都度対応している。 | ○ | 利用者との関わりを作れるよう努力していきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) | |
|---------------------------------------|---|---|--------------------------------|---|
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 日々の関わりや会話の中から本人の想いを引き出せるように努めている。 | ○ | 全員行えているわけではないのでなるべくみなさんの意向に沿ったものが出来るよう支援していきたい。 |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | それぞれの方の記録を参考にまた、本人やご家族などから話をうかがうことで理解するように努めている。 | ○ | 新スタッフもいるため再確認が出来るよう努めたい。 |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | 1人1人の方の情報を毎日記録し、職員全員で共有することにより、状態を把握出来るようにしている。 | ○ | 今後もセンター方式を活用し、日々その方に会った支援を心がけたい。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 本人の様子を見ながら何が必要か等を職員間で話し合ったり、ご家族の要望を聞いたりすることで偏ったプランにならないようにしている。 | ○ | 言葉で表現できない方も居るので、表情などから理解できるよう努めている。 |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 定期的に評価し、見直しをすることで、その都度、状況に合った内容をプランに反映させている。 | ○ | 状況に合わせプランを見直し行っているが滞ることもあるので注意していきたい。 |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|--|--|------------------------|--|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個人カルテ、日誌に必ず記入し、変化があった場合、話し合いケアプランを見直している。 | ○ | 個人カルテの情報が少ないことがあるので今後もきちんと行動が記録に残り、全体スタッフで確認できるようにしたい。 |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入) | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている (小規模多機能居宅介護) | | | |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 隣接の老健施設を利用したり、地域で利用するスーパーなどへも声を掛け、住みやすい雰囲気を作るよう努力している。 | ○ | まだまだ地域との連携、個々に合わせた支援に至っていないので努力していきたい。 |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 本人の意向に応じて、訪問の美容師を利用したりする用意している。 | ○ | 隣接老健のサークルに参加したりはしているがまだまだ狭い地域の為、更に利用出来るように支援していきたい。 |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 家族などから相談があり、解決出来ないこと確認したいことなどを包括に相談したりしている。 | ○ | 長期的なマネジメントが出来ていないので今後相談し行っていきたい。 |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|---|---|------------------------|---|
| 43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 以前からのかかりつけの医療機関の継続、往診での定期的な医療を受けている。 | ○ | 基本的には家族の対応での受診だが、状態が変化しているときなどは、スタッフの付き添い、書面、電話での情報提供に努めよりよい対応ができるよう努力している。 |
| 44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 必要な入居者は専門医のアドバイスを受けられるよう支援している。 | ○ | 各入居者の専門医とは相談を密に出来ているが、スタッフが気軽に相談できる認知症専門医がいないので相談できる所を確認していきたい。 |
| 45 | | | |
| 46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | 入院前の情報提供を密にし、入院中も面会や、病院との情報交換を密にしながら行っている。 | ○ | 入院中の入居者のメンタルフォロー、また、早期に退院できるよう病院関係者と連携を取っている。 |
| 47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 常に家族、スタッフ間では話し合いにはなっている。 | ○ | 指針の整備やスタッフの医師統一も含め、家族、入居者とも話し合いをすすめている。 |
| 48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | 事業所内での「出来ること、出来ないこと」の見極めは出来ている。まだ、重度化が深刻になっていないこともあり、具体的に検討していない。 | ○ | 重度化への対応、看取りの指針を家族、スタッフ含め検討中。早急に的確に検討したい。 |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいきたい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|--|--|--------------------|--|
| 49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 必要な情報を交換し、なるべくダメージがないように努力している。 | ○ | 時期をみて在宅での生活を考えているご家族もいるので、在宅に合わせたその方が安心して住まえる場の相談を行うようにしている。 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 1人1人の方に対して敬う気持ちを大切にしている。 | ○ | 個人情報についても気をつけているが、業務日誌が誰でもいつでも見れる状況の時もあるので環境整備に努めていきたい。 |
| 51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | こちら側からの言葉を急がせたりせず、本人のペースで話せるようにゆっくり聴く姿勢を大切にしている。又、何かを尋ねるときには個々に合わせたわかりやすい聞き方をしている。 | ○ | スタッフの都合で進めてしまう事もあるので、本人と向き合い想いを理解し支援していくように今後も努めたい。 |
| 52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居者の様子を見ながらそれに合わせた対応を心がけている。 | ○ | 業務優先になっているスタッフも居るので声を掛け合いながら、入居者個々の生活を見られるよう気づいて貰いたい。 |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援(53は、認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入) | | | |
| 53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている(認知症対応型共同生活介護) | 定期的に美容師に来ていただき本人の希望に添って散髪を行っている。また、ご自分で整容できない方は鏡に向かう時間が少ない。 | ○ | 身だしなみ等、時間がかかっても本人に行ってもらえるよう、支援していきたい。 |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|---|--|------------------------|---|
| 54 | <p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p> | ○ | <p>台所に立てなくても味見をお願いしたり、楽しめる工夫をしている。</p> |
| 55 | <p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p> | ○ | <p>献立などもう少し入居者と一緒出来るように努めていきたい。</p> |
| 56 | <p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p> | ○ | <p>本人の排泄パターンを把握できるようになったので、スタッフ間で統一した支援が出来るようもう少し努力していきたい。</p> |
| 57 | <p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p> | ○ | <p>介助の必要な方はどうしてもスタッフ優先の時間帯での入浴になってしまっている。出来る限りゆっくりくつろいで入浴出来るよう努めている。</p> |
| 58 | <p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p> | ○ | <p>夜間気持ちよく睡眠出来るよう日中の支援にも記を配っているが、スタッフ全員が意識できているわけではない。今後きちんと全スタッフがその事の必要性を理解し、実行できるよう努める。</p> |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入) | | | |
| 59 | <p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)</p> | ○ | <p>声かけの仕方、対応などにまだ役割、楽しみ、気晴らしを目的として行えていないスタッフもいるので今後少しずつでも改善していきたい。</p> |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|--|------------------------|---|
| 60 | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している（認知症対応型共同生活介護）</p> | <p>何人かお金を所持されている方がいるが意思で使用することは少ない。</p> | ○ | <p>定期的買い物にお誘いするなど本人の意欲が出るような支援をしていきたい。</p> |
| 61 | <p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している（認知症対応型共同生活介護）</p> | <p>各個人の気分や体調を考慮し日向ぼっこや散歩、ドライブなどを行っている。</p> | ○ | <p>今後も一人ひとりに合わせて外へ出る機会を設けていきたい。</p> |
| 62 | <p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している（認知症対応型共同生活介護）</p> | <p>個別で家族と外出、外食の機会などを設けている。</p> | ○ | <p>事業所としてなかなか関わっていないので今後、聴き取りも含め支援していきたい。</p> |
| 63 | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている（認知症対応型共同生活介護）</p> | <p>手紙や電話を受け取ることはあるが、本人自ら行うことは出来ていない。</p> | ○ | <p>スタッフが上手く気持ちを引き出し支援していきたい。</p> |
| 64 | <p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している（認知症対応型共同生活介護）</p> | <p>面会に来られた際はゆっくり過ごしていただけるよう心がけている。</p> | ○ | <p>久しぶりの友人などの面会の際は確認し、本人、面会者が楽しく過ごせるようスタッフも入りゆっくり過ごすよう心がけている。</p> |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | <p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p> | <p>日々意識して業務にあたっている。</p> | ○ | <p>全スタッフが身体拘束によって受ける身体的・精神的弊害を理解し、生活支援出来るよう努める。</p> |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|------------------------|---|
| 66 | <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p> | ○ | <p>夜間帯は防犯を兼ねて戸締まりをしているが気候や気分に合わせて居室の窓を開けられるようになっている。</p> |
| 67 | <p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p> | ○ | <p>安全かつプライバシーにも配慮し、居室窓には入居者に気づかれないセンサーを配置し、安全を確保している。</p> |
| 68 | <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p> | ○ | <p>スタッフ間で何でも危険はあることを理解した上で自由で安全な状態を支援していく。</p> |
| 69 | <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p> | ○ | <p>マニュアルも作成し取り組んでいるが、常に意識を高く持ち、事故防止していく。</p> |
| 70 | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p> | ○ | <p>不安が解消されるよう定期的な学習会の開催や研修への参加などを行っていきたい。</p> |
| 71 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p> | ○ | <p>近隣住民への働きかけが弱いので今後早急に行っていきたい。</p> |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表


| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-----|--|---|------------------------|---|
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている | 面会時や運営推進会議などで近況を伝えることで考えられる危険性についても家族などに理解していただけるように努めている。 | ○ | スタッフ間では入居者個々の危険性について話し合い、全体のリスク防止と個々人のリスク防止で支援している。 |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 各スタッフが小さな変化を見逃さず観察しトピックスに報告、相談している。 | ○ | 常にスタッフは、新鮮な気持ちで関わられるよう努力している。 |
| 74 | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 服薬に変更があった際は必ず申し送りで行って確認している。新処方薬は、薬局、看護師などと確認し、効用・副作用について確認している。 | ○ | 新処方薬内服開始からしばらくは意識して症状変化の把握に努め、必要あれば、医師に報告・相談している。 |
| 75 | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 個々の排泄パターンを把握し、食事・水分量、運動、ストレスなどに考慮している。また、食事では毎日、乳製品や繊維質の多いものを取り入れている。 | ○ | なるべく薬を使わずに便秘を解消出来るよう努めている。 |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 1日のうち1度は行えている。また、義歯の方には毎晩洗浄して支援できている。 | ○ | 毎食後、支援出来るように検討していきたい。また、指示の入りが悪く行うことができない方への支援もできるよ努める。 |
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 個々人の体調、また季節に応じて十分な栄養・水分が確保出来るよう工夫し行っている。 | ○ | 食事摂取量が少なかったりするときは、好む物を提供したり、食べられる環境、声かけを支援している。 |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|------------------------|--|
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等） | マニュアルあり。マニュアルに沿って、時期に合わせてたり、感染症の種類に合わせて事前の対応を徹底している。 | ○ | 今年度も、感染症の発症しないように事前に対応していく。 |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 調理器具は毎日消毒し、市販のおかずにも再度熱を通し食卓に出すなど配慮している。また、食材の買い物は毎日出かけ、新鮮な物を購入している。 | ○ | 管理者は、安全で楽しくおいしい物を提供するため、時期を見て生ものを控えたり、食材の保存を確認したり、定期的に行っている。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | ベンチを置き、気軽に休める場を作ったり、花を植えたりすることで出入りしやすい雰囲気をはかっている。 | ○ | 気軽に中に入れる工夫を検討している。 |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 明るさの調整や清潔感を感じられるよう掃除に努めたりしている。 | ○ | ご家族が季節に応じて花を持ってきて飾ってくださったり、スタッフ間でも季節感を感じられるよう工夫している。 |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | セミ・パブリックスペースをその都度入居者に併せて提供したり、和室を上手く活用したり各入居者が居心地良く共有スペースで過ごせるよう工夫している。 | ○ | もう少し各個人にあったスペースを作れるよう努力中。 |

グループホームなごみの家 東棟 自己評価表

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | ○印 (取組んでいき たい項目) | 取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|---|---|------------------------|---|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている | 以前から使い慣れた物を使用し、居心地の良い空 間になるよう努めている。 | ○ | 安心した居室になっていない方もいるので、日々 検討しながら行っていきたい。 |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている | 毎日、湿度のチェックをしたり、常に入居者の表 情や動き、訴えなどを確認しながら温度調整など 配慮している。 | ○ | 過度に暑すぎたり、寒すぎたりしないよう、季節 に併せて調整している。 |
| (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している | 常に意識しながら、危険であろう場所の確認、見 直しを行ったり、個々の状態にあわせて工夫して いる。 | ○ | 今後もその都度危険箇所の把握と改善をし、か つ、生活感のある環境を作っていきたい。 |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している | 本人ができる事は継続してもらえるように支援 し、安心して暮らせるように工夫している。 | ○ | スタッフがもう少し意識し、改善することで各入 居者の「出来ること」が増えていこうと思われ る。 |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている | 玄関先は安心して楽しめる空間が出来ている。 | ○ | 玄関はもちろん、中庭の有効活用も含め、みんな が楽しめる空間作りを進めている。 |

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

| V. サービスの成果に関する項目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) |
|------------------|--|---|
| 項 目 | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない ⑤その他 () |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ⑤その他 () |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 () |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 () |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 () |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 () |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない ⑤その他 () |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない ⑤その他 () |
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | ○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない ⑤その他 () |

| 項 目 | | 取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと) |
|-----|---|---|
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | <input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない <input type="radio"/> ⑤その他 () |
| 98 | 職員は、生き活きと働けている | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない <input type="radio"/> ⑤その他 () |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない <input type="radio"/> ⑤その他 () |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | <input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない <input type="radio"/> ⑤その他 () |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)